

合唱コンクールに向けて②

文化行事委員、指揮者、伴奏者、パートリーダーの紹介をします。

A組 河合さん、新名さん 自由曲 「手紙～拝啓十五の君へ～」

課題曲 指揮 河井さん 伴奏 上野さん

自由曲 指揮 岩野さん 伴奏 熱田さん

パートリーダー 土田さん、新名さん、谷澤さん

B組 川島さん、武田美波さん 自由曲 「虹」

課題曲 指揮 今西さん 伴奏 武田千祈さん

自由曲 指揮 新井田さん 伴奏 武田美波さん

パートリーダー 尾崎さん、佐藤さん、坊野さん

C組 長谷井さん、西尾さん 自由曲 「ふるさと」

課題曲 指揮 下阪さん 伴奏 仲川さん

自由曲 指揮 富浜さん 伴奏 西尾さん

パートリーダー 水谷さん、関さん、長谷井さん

D組 水島さん、塩崎さん 自由曲 「友～旅立ちの時～」

課題曲 指揮 蓮池さん 伴奏 関口さん

自由曲 指揮 塩崎さん 伴奏 林さん

パートリーダー 木下さん、井口さん、山田さん

クラス全員で1つのものを作り上げることは、難しいです。本番までにどれだけ本気になれたか、やりたいこと表現したかったことができたか、お互いを認め合うことができるようになったか、歌っていて楽しかったか、そして聴いた人に何かを与えることができたかです。文化行事委員を中心に最後の合唱コンクール、最高の思い出をつくっていきましょう。

本気になるのは、今!!

来週から、歌練習が始まると、前回お知らせをしました。何人の人が、家で自分のパートを聞き、口ずさんででしょうか？この学年通信を作成しているとき、合唱部だった娘が「普通、家でパート練、やらないでしょ…」しかし、そんなことを言う彼女とコンクールに向けて、毎晩、自宅のピアノで2人で音とりをしたことを思い出しました。

「本気になる」ことって難しいのでしょうか？本気になれる人、「本気になるって何の意味があるの？」という問いかけをしていませんか？その問いかけは、自分の気力、労力を出し惜しんで温存しているようなもの。「意味がある、ない」という視点だけで物事を判断することは、先を見通すことなく、自分の力を使わないことと同じです。もったいないことです。中学を卒業したら、クラスの皆で合唱することはありません。一人では意味を見出せないような小さなことでも、たくさんクラス全員が集まると、大きな意味をもつことができる、こんな経験は、最後になります。一緒に本気になりませんか？

「本気でやると決めたら、行動する」のみ。「面倒くさい」「疲れる」と思った人、30秒、本気に集中してやる。少し続けると1曲3分になる。決めて始めると、やらないうちは気付かなかった壁にいくつもぶち当たるかもしれません。それでも一つひとつ乗り越えていく過程で自分の視野が広がり、さらなる高みを目指して前に進みたくなる、次第に周りからの応援や共感を得られてくるはずです。

私も、夏休み、「本気」になって、合唱部の伴奏を仕上げました。5月の保護者会で「伴奏やってください!」と声をかけられ、「時間的に無理だと思います…」と答えました。ピアノは、10年近くやっていたのですが、最近3年は、さわってもいなかったからです。「最後の合唱コンクール、合唱部の生徒も頑張っているの、頑張ってみるか」と7月始めに思い、練習をスタートしました。始めは、右手、次に左手、そして両手の音とり。歌と合わせる。あとは、「手が覚えるまで、練習あるのみ」大畑先生のアドバイスをもとに42日間頑張りました。本番に向けて、あとは、仕上げになります。

ゴールを見据えてどんな方法を取れば、後悔なくベストをつくせるか？自分に問いかけ、実行していきましょう!